

## 長寿企業の極意

## 周年イヤーの迎え方 119

社史や理念、事業の意義を見直す機会となる周年をどのように迎えるか。長寿企業から学びます。



## JFEシステムズ

1983年設立

川崎製鉄（現JFEスチール）のシステム部門より分社し、「川鉄システム開発」を設立。製造業をはじめ、金融、流通、通信などあらゆる分野に向けて、システムインテグレーション、アウトソーシング、コンサルティング、ERPを中核とした複合ソリューションの提供など、幅広いビジネスを展開。連結従業員数は1864人（2024年3月現在）。

# 40周年を機にパーパスなど企業理念を策定 パーパス・ムービーで好循環を創造

# 40th

JFEグループのコーポレートカラーであるブルーを基調に、「40」のゼロは、手書きのものをいくつも重ね、「社員一人ひとりの個性を大切に、その集大成として今の40周年を迎えたJFEシステムズがある」という思いを込めた。

はたらくをスマートに。  
はたらく人にスマイルを。

企業中心の時代から、人間中心の時代へ。  
業務を正確に、効率的にするだけでなく、  
はたらく人を夢中に、創造的にしてくれるITが求められている。  
私たちは、そんなITを「スマートフル(Smart+Heartful) IT」と呼んでいます。  
JFEシステムズは、ITのプロフェッショナルとして、人のつながりを大切に、  
世の中の「こうなりたい」という想いに向き合い、  
スマートフルITの力で「できるんだ!」を広げます。

スマートフルIT  
SMART+HEARTFUL

JFE システムズ 株式会社  
JFE



周年サイトは、パーパスやブランドコンセプト「スマートフルIT」につながる同社のヒストリーを紐解く構成。

2023年9月、製造業に強みを持つシステムインテグレーターであるJFEシステムズが設立40周年を迎えた。

周年施策の目的は、パーパス、バリュー、行動指針からなる企業理念の策定と、パーパスを中核としたブランディング施策の展開。パーパス策定では、「未来ソウゾウ会議」と銘打った全社横断プロジェクトを立ち上げた。

### 半年かけてパーパスを策定

プロジェクトでは自社役員や顧客、ビジネスパートナーや関連企業など、幅広いステークホルダーへのインタビューや

全社アンケート、各事業部・事業所の次世代を担う中堅社員が参加するワークショップなどを通じ、半年かけて議論を重ねた。社員が「自分ごと化」できるように、その模様を社内報で3号にわたって紹介した。

そうして生まれたのが「はたらくをスマートに。はたらく人にスマイルを。」というパーパス。「スマートフルIT」というブランドコンセプトや、同社の価値観となる「SCECS」と行動指針も策定。「メンバーたちはパーパスを言語化する過程で視座が広がり、『いろいろな視点から物事を見られるようになり、自社の

強みや魅力を再確認できた」という声もありました」とプロジェクトリーダーを務めた総務部広報グループ長の田中恵美氏は語る。

40周年イヤーの開始日にあたる2023年9月1日には、周年サイト「Brand History of 40th 1983-2023 未来につながるご縁」を公開。また、全国紙や各事業所・事業部の最寄駅への広告出稿では「社員の記憶に残る、インパクトのあるものにしたい」という思いから、その土地ならではの風景にブランドコンセプトのロゴを重ねた「メイン広告」と、さまざまな分野の“はたらく人”に光を当てた「シリーズ広告」を掲出した。

「特にメイン広告は地方の事業所・事業部も含めて全社で盛り上げられるように、各地域の社員たちがいつも見ている風景にロゴやパーパスを重ね、掲出場所も地域の社員に相談しました。車通勤の社員がわざわざ電車に乗って見に行ってくれ



40周年施策の中心となったパーパス策定プロジェクト「未来ソウゾウ会議」の様子などは随時社内報で情報共有し、理解と浸透を促進。



たという話も聞いています」と感慨深く話すのは、ブランディングのリーダーを務めた営業企画部の翁長千裕氏。広告には「そのITは、現場を変えているか。」というコピーが添えられた。「AIに任せる仕事もあれば、人間にしかできない仕事もある、という思いを込めました。『自分の仕事を振り返るきっかけとして刺さった』という声が届いたときは嬉しかったですね」(翁長氏)。

### 採用エントリーが増加

2024年1月にパーパスへの理解と共感



掲載地区にゆかりのある場所で撮影した交通広告の「メイン広告」。その土地ならではの風景にパーパスのブランドコンセプトロゴを重ねた。

を目的としたムービーを社内外に向けて公開すると、大きな反響が。

「採用のエントリー数がかなり増えました。パーパスが採用に効果的であることや映像が持つ力について、知識としては知っていましたが、想像以上の大きな反響に驚いています。また、社内でも『パーパスの世界観に共感できる』と好評です」(田中氏)。

時を同じくして社内では組織開発や企業文化の変革につながる「Myパーパス活動」をスタート。この活動は社員一人ひとりが、パーパスと自分自身の志との重なりを言語化した「Myパーパス」を策定・共有するというもの。すでに全役員と部課長、「アンバサダー(パーパス浸透を担う次世代のリーダー格社員)」が策定を終え、一般社員はアンバサダーのサポートのもと策定を進めている。

「プレゼンなどでMyパーパスを口にする社員がいたり、自分たちが実現したい世界を具体的に考える社員が増えたりと、変化の兆しを感じます」(田中氏)。



(写真左から)総務部広報グループ長の田中恵美氏と営業企画部の翁長千裕氏。

## JFEシステムズ パーパス策定・ 周年事業プロジェクト

希望者制でパーパス策定(3人)とブランディング推進(6人)のチームを組成。

2022年

6月

▷パーパス策定・周年事業プロジェクト発足

2023年

6月

▷パーパス・バリュー・行動指針策定

9月

▷周年イヤースタート、周年サイト公開、事業所・事業部ごとに周年パーティーを順次開催

11月

▷全国紙にパーパス広告出稿

2024年

1月

▷パーパス・ムービー公開、全国鉄道各社「車内ビジョン」広告掲載、「Myパーパス」活動スタート

2～3月

▷パーパス駅広告出稿

6月以降

▷インターネットやSNS上での採用向けパーパス広告を開始

### Pick UP!

多くの学生の心をとらえた  
パーパス紹介用ムービー



就職活動の様子から始まる動画は、社会の中の「はたらく人」とJFEシステムズ社員の双方を主人公に、お互いが同志の関係であることを伝えるストーリー。「当社の面接で志望動機にパーパス動画を挙げる人や、『どのようにパーパスを意識されていますか』と面接官が質問される場面もあったそうです」(田中氏)。

### !

「わが社の周年事業・プロジェクトを広報会議で取り上げてほしい」という担当者の皆さま、ぜひ情報をお寄せください。  
kouhou@sendenkaigi.co.jp